

九重火山のEDM観測結果 (1996年3月～2001年10月)*

Ground deformation monitoring by EDM on Kuju volcano
between March 1996 and October 2001

産業技術総合研究所地質調査総合センター**

Geological Survey of Japan, AIST

地質調査総合センターでは、1995年10月の噴火後の活動推移予測の目的で、12月から山体変動観測を続けてきた^{1)～13)}。第1図に光波測距測線を、第2図にその結果をそれぞれ示す。

光波測距は、長者原ヘルスセンター内 (CJB) に自動測距機器を設置し、星生山から硫黄岳にかけての3点 (K1、K2およびK3) に反射鏡を設置して行った。CJB-K1間の斜距離は観測開始時から一貫して短縮しており、これまでに約31cm短縮した。CJB-K2間は、1998～1999年頃から短縮傾向が認められるようになり、最近4年間で約6cm短縮した。CJB-K3間は顕著な変化は認められない。

光波測距の器械点は、飯田高原観光株式会社の御好意により継続して設置することができた。記して謝意を表する。

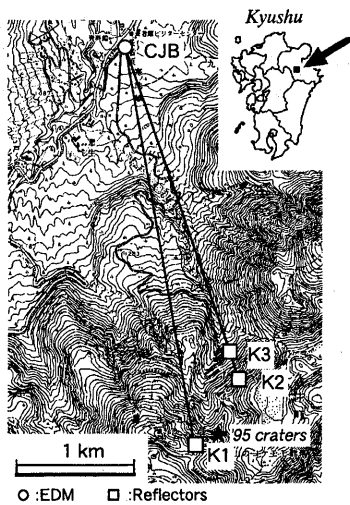
参 考 文 献

- 1) 地質調査所(1996)：九重火山の山体変動観測 (1995年12月から1996年2月), 噴火予知連絡会報, 64, 43-44.
- 2) 地質調査所(1996)：九重火山の山体変動観測 (1996年2月から1996年5月), 噴火予知連絡会報, 65, 80-81.
- 3) 地質調査所(1996)：九重火山の山体変動観測 (1996年5月から1996年9月), 噴火予知連絡会報, 66, 93-94.
- 4) 地質調査所(1997)：九重火山の山体変動観測 (1996年9月から1997年2月), 噴火予知連絡会報, 67, 55-56.
- 5) 地質調査所(1997)：九重火山の山体変動観測 (1997年2月から1997年6月), 噴火予知連絡会報, 68, 73-74.
- 6) 地質調査所(1998)：九重火山の山体変動観測 (1997年6月から1997年10月), 噴火予知連絡会報, 69, 96-97.
- 7) 地質調査所(1998)：九重火山の山体変動観測 (1997年10月から1998年1月), 噴火予知連絡会報, 70, 42-43.
- 8) 地質調査所(1998)：九重火山の山体変動観測 (1998年1月から1998年6月), 噴火予知連絡会報, 71, 97-98.
- 9) 地質調査所(1999)：九重火山の山体変動観測 (1998年6月から1998年10月), 噴火予知連絡会報, 72, 105-106.
- 10) 地質調査所(1999)：九重火山の山体変動観測 (1998年10月から1999年2月), 噴火予知連絡会報, 73, 90-91.
- 11) 地質調査所(1999)：九重火山の山体変動観測 (1999年2月から1999年5月), 噴火予知連絡会報, 74, 97-98.
- 12) 地質調査所(2000)：九重火山の山体変動観測 (1999年5月から1999年10月), 噴火予知連絡会報, 75, 100-101.
- 13) 地質調査所(2001)：九重火山の山体変動観測 (1999年10月から2001年1月), 噴火予知連絡会報, 76, 85-87.

* Received 25 Dec., 2001

** 斎藤英二・渡辺和明・須藤 茂

Eiji Saito, Kazuaki Watanabe and Shigeru Suto

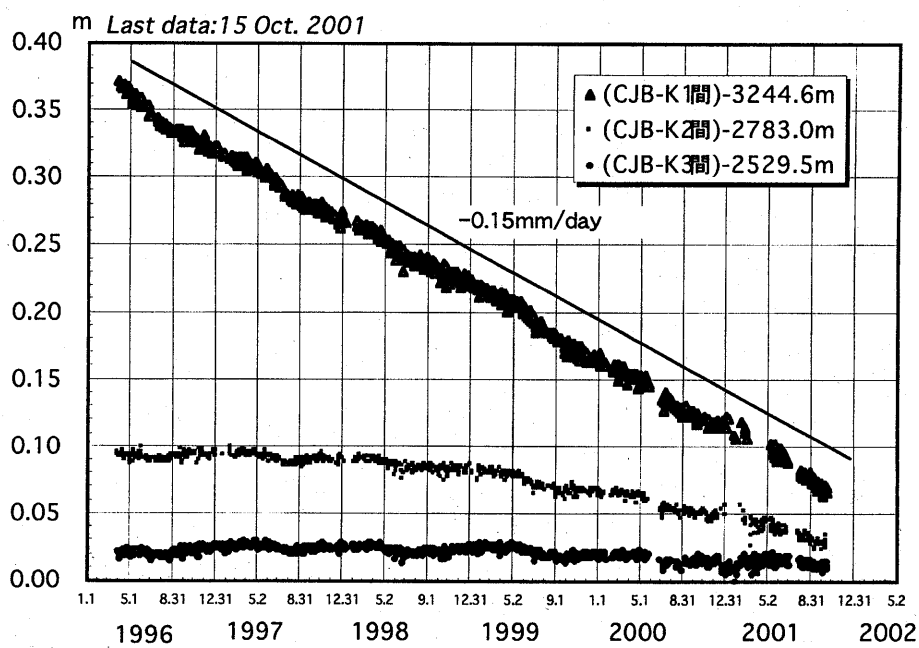


第1図 九重火山光波測距観測網

K1、K2、K3は反射鏡、CJBは器械点。

Fig.1 EDM network on Kuju volcano.

K1 to K3: reflectors, and CJB: instrument station.



第2図 長者原-K1~K3間の斜距離変化

夕方だけのデータをプロットしてある。

Fig.2 Changes in relative slope distances between Chojabaru and K1 to K3 using automatic EDM system.

Selected data in the stable atmospheric condition in the evening are plotted.